

米元 響子

Kyoko Yonemoto (Violin)

3歳よりヴァイオリンをはじめ、梶田昭、伊達良、桐朋学園「子供のための音楽教室」では鈴木亜久里に、後に海野義雄の各氏に師事。1997年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール（イタリア）において、史上最年少13歳で入賞後、日本音楽コンクール、モスクワ・パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール優勝など数々の賞を受賞。2003年パリに移り、ジェラルド・プーレ氏に師事。2004年からはオランダ・マーストリヒト音楽院とキジアーナ音楽院でボリス・ベルキン氏に師事し、（公財）ロームミュージックファンデーション、（一財）ヤマハ音楽振興会の奨学生として修士課程を修了。2008年「出光音楽賞」受賞。

これまでにチョン・ミョンフン、ロベルト・ベンツィ、ユーリ・バシュメット、エリアフ・インバル、ハンス＝マルティン・シュナイト、ガブリエル・フムラ、ギュンター・ノイホルト、小泉和裕、小林研一郎、広上淳一ら著名指揮者をはじめ、国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ国立交響楽団、ケルン放送管弦楽団、リンブルフ交響楽団（オランダ）、リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団、ビルバオ交響楽団、台北市立交響楽団等の海外オーケストラとも多数共演。室内楽の分野でもヨーロッパ・日本を中心に活躍中。

近年ではイタリア・キジアーナ音楽院でブラームスの全曲演奏会、トリエステ・ヴェルディ劇場オーケストラ（イタリア）とプロコフィエフのヴァイオリン協奏曲第1番をペドロ・アルフテル＝カロの指揮で演奏し好評を博した。ベルギーの音楽祭では室内楽シリーズでジャン＝クロード・ヴァンデン・アイデン（ピアノ）やデイヴィッド・コーエン（チェロ）などと共演を果たしている。

今シーズンは、4月に東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団と小泉和裕指揮でチャイコフスキーの協奏曲を好演。7月はフィリアホール「土曜ソワレシリーズ」にて、上村文乃（チェロ）、菊池洋子（ピアノ）とのトリオ公演を、10月には、堀込ゆず子、有希 マヌエラ・ヤンケ、青木尚佳と「4つのヴァイオリン・コンサート」の国内ツアー等を控えている。

今年3月、キングインターナショナルより初のCD「イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲（未完の新発見ソナタも含む）」を発売。「レコード芸術」特選盤に選出された。

現在、オランダ・マーストリヒト音楽院教授。

使用楽器は1727年製のストラディヴァリウス（サントリー芸術財団より貸与）。

(2019年6月現在 約1,000字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8090 FAX: 81-3-3499-8092

米元 響子 Kyoko Yonemoto (Violin)

梶田昭、伊達良、桐朋学園「子供のための音楽教室」では鈴木亜久里に、後に海野義雄の各氏に師事。1997年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール（イタリア）において、史上最年少13歳で入賞後、日本音楽コンクール、モスクワ・パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール優勝など数々の賞を受賞。2003年パリに移り、ジェラルド・プーレ氏に、2004年からはボリス・ベルキン氏に師事。マーストリヒト音楽院修士課程修了。2008年「出光音楽賞」受賞。

これまでに国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ国立響、リンブルフ響（オランダ）、リエージュ王立フィル、ビルバオ響等の海外オーケストラとも多数共演。室内楽の分野でもヨーロッパ・日本を中心に活躍中。

近年ではイタリア・キジアーナ音楽院でブラームスの全曲演奏会、トリエステ・ヴェルディ劇場オーケストラ（イタリア）とプロコフィエフのヴァイオリン協奏曲第1番をペドロ・アルフテル＝カロの指揮で演奏し好評を博した。ベルギーの音楽祭では室内楽シリーズでジャン＝クロード・ヴァンデン・アイデン（ピアノ）やデイヴィッド・コーエン（チェロ）などと共演を果たしている。

今年3月、キングインターナショナルより初のCD「イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲（未完の新発見ソナタも含む）」を発売。「レコード芸術」特選盤に選出された。

現在、オランダ・マーストリヒト音楽院教授。

使用楽器は1727年製のストラディヴァリウス（サントリー芸術財団より貸与）。

(2019年6月現在 約600字)

米元 響子 Kyoko Yonemoto (Violin)

1997年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール（イタリア）において史上最年少13歳で入賞後、日本音楽コンクール、モスクワ・パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール優勝など数々の賞を受賞。これまでに国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ国立響、リンブルフ響（オランダ）、リエージュ王立フィル、ビルバオ響等の海外オーケストラとも多数共演。室内楽の分野でもヨーロッパ・日本を中心に活躍中。現在、マーストリヒト音楽院教授。今年3月、キングインターナショナルより初のCDアルバム「イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲（未完の新発見ソナタも含む）」を発売。使用楽器は1727年製のストラディヴァリウス（サントリー芸術財団より貸与）。

(2019年6月現在 約300字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8090 FAX: 81-3-3499-8092

Kyoko YONEMOTO (Violin)

Born in Fukuoka in 1984, she began playing the violin at the age of three and took her first violin lessons from Akira Kajita. After she moved to Tokyo, she continued her studies with Ryo Date and Akuri Suzuki. At the age of six she entered the Music School for Children at Toho Gakuen School of Music, and thereafter she was mentored by Yoshio Unno.

In 1997, at the age of thirteen, she became the youngest prize winner ever at the Paganini Competition in Italy. She later won first prize at the Music Competition of Japan in 2001 and the Paganini Moscow International Competition in 2006. She is also a prize winner at the Long-Thibaud, Queen Elisabeth and Fritz Kreisler violin competitions.

In 2009 she was invited to perform the Paganini Concerto No.1 and the Vieuxtemps Concerto No.4 in the big hall of the Moscow Conservatory, accompanied by the Moscow State Symphony Orchestra. The following year she returned to Moscow to perform the Vieuxtemps Concerto No.5 with Pinchas Zukerman in the Kremlin.

She moved to Europe in 2003 and started studying with Gérard Poulet at the Conservatoire National de Région and at the Ecole Normale de Musique de Paris. In 2004 she began studying with Boris Belkin at the Maastricht Conservatorium in the Netherlands, where she completed her master's degree. She also took part in the summer course at the Accademia Chigiana in Italy, and in 2012 she was invited to its winter series to perform all Brahms sonatas.

In addition to regular appearances with most of major Japanese orchestras, she has also performed with international orchestras in Russia, the Netherlands, Italy, France, Belgium, Spain, and Taiwan, and collaborated with celebrated conductors such as Roberto Benzi, Myung-whun Chung, Gabriel Chmura, Yuri Bashmet, Eliahu Inbal, HannsMartin Schneidt, Günter Neuhold, Charles OlivieriMunroe, Kazuhiro Koizumi, Kenichiro Kobayashi, and Junichi Hirokami.

She is also a noted chamber musician. She has recently worked with artists such as Jean-Claude Vanden Eiden, Pascal Moragues, Yuzuko Horigome and David Cohen. She also enjoys her collaboration with cellist Ayano Kamimura and pianist Yoko Kikuchi as a trio.

Since 2012 she has held a professor position at the Maastricht Conservatorium in the Netherlands.

In this recording she plays a Stradivarius violin (1727), on loan from the Suntory Foundation for Arts.

(June 2019)

2019/2020 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8090 FAX: 81-3-3499-8092